

オンライン留学を通じて

佐藤真由子

はじめに

2021年9月から2022年6月の一年間、埼玉県親善大使として中国山西大学へ留学させて頂きました。埼玉県、山西省の関係者の方々には、コロナ禍で多くが留学自体中止となる中、オンラインという形で留学する機会を下さいましたこと感謝申し上げます。

この留学で学んだこと、現地留学との違いなど感じた事を中心にお伝えできればと思います。

留学前の勉強について

合格の通知が3月に届き、そこから授業に向け中国語の勉強を本格的に始めました。それまで私の中国語力はほぼゼロでした。私は留学前に文法や単語をたくさん勉強し、そこで身につけた事は授業でも役立ちました。しかし、留学当初はネイティブの先生方の中国語にとっても戸惑ってしまったため、留学前には教材等のCDだけではなく、ドラマや映画などでネイティブな中国語のリズムや速さに少しでも慣れておくべきだったと後悔しました。

クラスについて

クラスは上級、中級、初級とあり私は初級クラスになりました。人数は初級クラスが一番多かったようで45人ほど在籍していました。ですが、毎日の出席数は多くても15人程度と多くはなく、後半になるにつれて減っていきました。現地留学と異なりオンライン留学は強制的に勉強をする環境にないため、モチベーションを自分で管理し維持することがとても大切だと感じました。

授業について

・上級・中級クラスが午前、初級クラスが午後の授業でした。授業は2コマあり、1コマ目は中国語全般を学ぶ授業で、2コマ目が交代でリスニングと読解の授業でした。初めは「2コマしかない」と思っていたのですが、授業の予習復習、宿題にかかる時間が多く、一日があっという間に感じました。

・授業中の言語は中国語もしくは英語でした。私は中国語はもちろん英語もほぼ出来なかったため内容が理解できず、初日は今後やっていけるのかと不安でいっぱいだったのを覚えています。ですが先生方は画像や動画やジェスチャーなどを沢山用いて丁寧に教えてくれるため、私でも最初から授業についていくことができました。

・授業の流れはどの科目も基本的に教科書に沿って進められ、本文を読んで単語を確認し、

文法などを解説し、問題を解くというものでした。授業中に先生に指名されて発言する機会が何回かあり、そこで文法の間違いや発音を先生に直してもらうことができます。オンライン留学においては貴重なアウトプットの機会のため、私は積極的に発言するようにしてミスや発音のクセをたくさん直してもらいました。

オンライン留学の良かった点

・授業を何度も聞くことができる

先生は授業を録画してグループチャットに毎回送ってくれたため、1度の解説では分からなかった所や聞き取れなかった所などは授業後に何度でも復習することができました。クラスの中には授業の時間に仕事をしている人もいたので、いつでも録画で授業を受けることが出来るのがオンライン留学のメリットだと感じました。その他に、私は録画を見て先生の言葉をシャドーイングして、リスニングと発音の練習にも用いていました。この方法を始めてから、自分のリスニング力がぐんと上がったように感じました。

・時間に余裕がある

自宅で授業を受けられることによって、勉強以外の事にも余裕が持て、結果として中国語の勉強にも集中できたと思います。授業以外の交流や活動が無い反面、勉強だけの時間を多く確保出来るところは良い点だと思います。

また、クラスの学生の中には、介護をする方、子育てをしている方などもいて、今の生活のまま留学できるのはオンラインだからこその両立だと感じました。ちなみに私はこの留学期間を利用して自動車学校に通い免許を取得しました。

留学を通して

現地留学に比べ机に向かって勉強する時間が多くなってしまうオンライン留学で、モチベーションを保つ事は容易ではありませんでした。そのため私は

・目標を設定すること

・楽しく勉強すること

この2つを心がけていました。具体的には、HSK5級を最終目標に設定し定期的に試験を受けながら勉強に取り組みました。また中国語のドラマや映画を見たり、ネットで言語交換の友達を作ったり、中国のSNSを活用したりするなど中国語で好きなことを見つけ楽しみながら勉強できる環境を作りました。一つ一つ級をクリアしていく達成感や、中国の友人とのチャットが徐々にスムーズになっていく事が嬉しく、最後まで楽しんで中国語を勉強できたことで、最終的にHSK5級を取得することができました。

何かを身につける事において、目標設定や過程を楽しむことは当たり前かもしれませんがとても重要だと身をもって学びました。今後留学を予定されている方は、ぜひ目標や楽しむ方法を見つけることをおすすめしたいです。

まとめ

約 1 年間のオンライン留学を経て、中国語はもちろん中国に対しても理解を深めることができました。授業で中国の文化や歴史などを見たり聞いたりする中で、「実際に自分で見て体験したい」「中国へ行きたい」という気持ちはさらに強まりました。次の中国留学を目指し将来は中国との架け橋となれるよう、今後も中国語の勉強を続けていきたいと考えています。

最後にこのような機会を下さいました埼玉県、職員の方々と山西省山西大学の方々に改めて感謝致します。ありがとうございました。